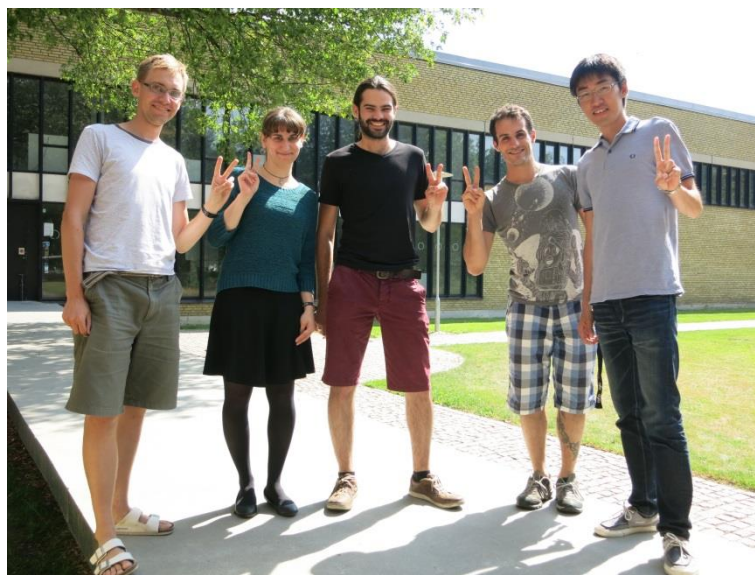


デンマークでの長期滞在を終えて

物理工学専攻 博士課程 2年 横山翔竜

ALPS 海外長期派遣制度を利用し、2013年5月17日から8月6日の約2か月半、デンマーク工科大学（Technical University of Denmark）のUlrik Lund Andersen 教授の研究室に滞在した。Andersen 教授のグループでは連続量量子情報処理の研究に取り組んでいるが、その中のトロイダル共振器を用いた超微小振動の検出の実験に参加させて頂き、博士課程の学生 Hugo Kerdoncuff と共に研究を進めた。今回の滞在では、検出効率にクリティカルな影響を及ぼす光ファイバーへの光の結合効率を従来より改善した。また、複数のトロイダル共振器の評価を行うことで、経年劣化により共振器損失が大幅に増え問題となっていることが判明した。

研究に関してはもちろんの事、初めての海外生活（人生初の一人暮らし&シェアハウス）で様々な国籍の外国人達と知り合いになり生活力やコミュニケーション能力を鍛えられたり、海外での伸び伸びとした生活・研究風潮に触れたり、日本ではできない数多くの貴重な経験をすることができた。このような素晴らしい機会を設けて下さった ALPS と指導教官である古澤明教授、そして何より快く受け入れて下さった Andersen 教授の研究室の皆様に感謝申し上げます。



仲良くして頂いたメンバーとデンマーク工科大学にて